



カリオン

carillon

Vol.
30
2016.10



発行 姫路赤十字看護専門学校
発行責任者 学校長 佐藤四三
編集責任者 事務部長 川下清春
〒670-0063 姫路市下手野I-12-2
TEL/FAX 079-299-0052(直通)

TOPIC

インターンシップ (in 姫路赤十字病院)



私はこの夏、インターンシップに参加しました。就職試験の前に、以前から興味のあった周産期フロアの病棟を実際に自分の目で見てみたいと思い、その中でも実習では行く回数の少ないNICU(新生児集中治療室)とGCU(新生児回復治療室)に行かせていただきました。



インターンシップでは、ミルクをあげたり、ポジショニングの介助をさせてもらったりとたくさんの新生児と触れ合う機会をいただきました。実際に自分の目で見て、体験することにより、改めて自分の就職したい病棟などを考えるきっかけとなり、より一層勉学に励んでいかなければならないと思いました。

(クラスIII)

後期行事予定(平成28年10月~平成29年3月)

- 10月** 2日(日) オープンキャンパス
3日(月) 後期授業開始
13日(木) クラスⅠ・Ⅱ トレーニングセンター
25日(火) クラスⅠ 戴帽式
26日(水) 戴帽を祝う会
28日(金) 関西看護学生看護研究大会
 クラスIII発表・クラスII聴講
- 11月** 4日(金) 球技大会
12日(土) 平成29年度社会人入試
30日(水)~12月16日(金) クラスIII 統合実習

- 12月** 25日(日)~1月6日(金) 全クラス 冬季休業
1月 18日(水)・19日(木) 平成29年度一般入学試験
 23日(月)~2月7日(火) クラスⅠ 基礎看護学実習Ⅱ
2月 13日(月)~ クラスⅡ 領域別実習開始
 19日(日) 第106回看護師国家試験
3月 1日(水) 卒業を祝う会
 3日(金) クラスIII 卒業式
 20日(月)~4月3日(月) 全クラス 春季休業
 27日(月) 国家試験合格発表



姫路赤十字看護専門学校 教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化するという赤十字の理念のもとに活動する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校は反省的実践家を育てるためにリフレクションを用いる。学生と教員にケアリングが起こる、このような学習過程を教育の基調とする。

【教育目標】

- 1) 人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。
- 4) 赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7) 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8) 保健・医療・福祉制度と他業種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9) 赤十字の諸活動に関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

ケーススタディ

私は今回、循環器内科で出会った狭心症患者との関わりについてケーススタディをまとめました。夏休みは何度も学校に通い、患者に行った生活指導や胸痛による不安感を緩和する援助など、文献を用いて胸痛による死への恐怖を軽減するための看護を改めて振り返ることが出来ました。

発表ではパワーポイントを使用し、視覚的にも聴講者に伝わりやすいよう工夫をしました。また、発表に対する質問や意見をいただき、生活指導の内容をより具体的にするという今後の課題が見つかりました。今回の学びを活かして、今後も患者の心に寄り添う看護を大切にしていきたいと思います。

(クラスIII)



日本看護学会 一看護教育一

平成28年8月4日(木)、5日(金)



発表テーマ:「領域別看護学実習でのペア制の導入の検討」
「領域別看護学実習でペア制導入を試みた実習効果」

日本看護学会一看護教育一で実習体制について2題発表しました。実習では看護に関して看護師や教員、学生同士で多くの話し合いが必要になります。しかし、学校での座学から病棟という学習環境の変化に戸惑い、話し合いをしながら看護を深めていくことが難しい学生もいます。そこで、3年生の4クール目の領域別実習から、1人の患者を2人の学生で受け持つペア制を導入しました。ペア制導入の検討と効果について発表し、多くの学会参加者から関心を持って頂き、発表時間を過ぎても質問が止まらないような状況でした。今後も学生にとって学び多い実習となるように、今回頂いた意見などを参考にして環境を整えていきたいと思います。

(専任教師:松井 里美、谷口 真紀)

本社研修



私たちクラスIIは6月26日(日)に日本赤十字社学生本社研修に参加させていただきました。

本社研修では国際人道法についての講演や、実際に海外での国際活動の経験のある看護師の話を聞かせていただき、改めて赤十字の役割や信念について考えることができました。

本社研修前に「赤十字の一員として大切にしたいこと、『今』、自分にできること」についてクラスでたくさん話し合いました。本社研修での学生交流を通してさらに「人道」について学びを深めることができ、また自分たちも赤十字の一員として自覚を持って行動していかなければならぬと改めて実感しました。

(クラスII:本社研修委員)

院外実習スタート! (クラスⅢ)

● 多可赤十字老人保健施設

多可赤十字老人保健施設は、昭和62年モデル事業として日本で最初に創設され、翌年本格実施しました。ここでは、症状が安定した高齢者を対象に、医学的管理の下、在宅復帰に向けたリハビリテーション、看護・介護を提供しています。

老年看護学実習Iでは、老年期にある対象のニーズを知り、残存機能を生かした生活援助を中心に、多職種協働における看護師の役割を学んで欲しいと考えています。

自然豊かな多可町で、5日間の宿泊実習を通して、学生達が老年観を語り合える機会になればと思います。そして、将来、その人らしさを大切にできる看護師に成長してくれる事を願っています。

(多可赤十字老人保健施設:看護係長 井田 純子)



● 老人ケアセンター 緑が丘

近年、認知症の人が急増する中で現在のあるべきケアは「その人らしさの継続を尊重する関わり」が重視されています。看護学生の皆さんには、認知症の医学的側面を捉えながら、認知症の人の行動と心理的特徴を理解して、中核症状と周辺症状を確認すること。また、当事者やご家族との関わりとして、具体的な生活支援の方法と技術を高齢者の体の仕組みと照らし合わせて認知症ケアを考えることや、認知症の人の権利、認知症の人とのコミュニケーション、介護するご家族の思い、在宅と施設の違いなどについて学びを深めて頂きたいと思います。

(老人ケアセンター緑が丘:課長 浅田 雅子)

● 介護老人保健施設 ゆめさき

「ゆめさき」は、入所(定員100名)のほか、通所リハビリ、訪問看護など在宅サービスを併設している事業所です。母体の入江病院を中心に地域医療を法人全体で支えるべく、日々邁進しています。

保健・医療・福祉の分野で注目されている「地域包括ケアシステム」。今後、在宅患者でも医療依存度が高くなる事が予想されます。この考えを深めていただけるよう、ゆめさきではその日の実習内容を用いて、日々の振り返りを30分程度、実習生に対して行っています。

病院の実習では、得難い体験をゆめさきで感じて下されば幸いです。

(介護老人保健施設ゆめさき:廣瀬 友貴)



● 小規模多機能ホーム あゆ美

小規模多機能ホーム「あゆ美」では住み慣れた地域で可能な限り在宅で生活したいという方が、ショートステイやデイサービス、訪問介護を利用しています。

普段、学生は病院での患者の様子を見ていますが、退院後どのような生活をしているのか見てほしいです。また、地域との多職種連携について考え、小規模多機能ホームでの学びを今後の実習に生かしてください。

(専任教師:神戸 真由美、谷口 真紀)



私は友人の家でキャンドル作りをしました。キャンドル作りは、とても難しいのかと思っていましたが、実際にみると単純な作業ばかりで不器用な私でも簡単に作ることができました。何かを作るということはめったにないので新鮮で面白かったです。機会があればまたいろいろなものを作りたいです。勉強の良い息抜きになりました。

(クラス III)



私は神戸フルーティークラスのメンバーでした。温室で育てらアーリを見たり、そして1日を楽しみにリフレッシュをりました。



今年の夏休みは私の家でBBQ(バーベキュー)をしました。その後に友達の誕生日サプライズをするつもりが、私の誕生日サプライズもあり感動しました。普段は勉強が大変ですが、良い息抜きになりました。夏休み明けにはテストがあるので、気を引き締めて勉強に取り組んでいきたいです。

(クラス I)



8月19日にクラスの人達に呼びかけてBBQをしました。コンロを買うところからはじめて、当日はお肉を買ったり、コンロを組み立てて木炭に着火剤を使って火をつけたりするところからすべて私たちの力でやりきったことは大きな経験となったと思います。思っていた以上にたくさん的人が参加してくださいり、このBBQを計画してよかったです！来年もぜひやりたいなあと思っています。来年はもっときちんと計画を立ててスムーズに肉を焼きはじめられるよう頑張ります！

(クラス I)

拝啓、お元気ですか ～1人暮らしver.～



一人暮らしを始めてから5ヶ月が経ちました。最初は大変だった料理や洗濯や掃除などを慣れたのか、さぼっているのかわかりませんができるようになりました。周りの友達にも恵まれて楽しい生活を送っています。これからも家事や勉強に忙しく大変な毎日ですが、看護師になれるよう頑張りたいと思います。

(クラス I)



鳥取から引っ越しして来て一人暮らしを始め、約5ヶ月が経ちました。家事の大変さを改めて実感し、母の偉大さを感じます。家事と勉強の両立で忙しいと感じることもありますが、毎日が充実しています。これからの3年間でより大きく成長し、立派な看護師になれるよう頑張っていきたいです。

(クラス I)

ツフラワーパーク
ーと行つてきました。
れているミニヒマ
ドウ狩りをしたり
ました。心身とも
する良い機会とな

(クラスⅢ)



2週間の免許合宿のため静岡
県に友達と2人で行きました。
一面に広がる茶畠を眺めつつ教
習を受けました。空き時間に、
海で遊んだり有名なラーメン屋
に行ったり、花火を見たりして
楽しむこともできました。

(クラスⅡ)

今年の夏休みはUSJに行つてきました。アトラク
ションに乗つたり、みんな
とたくさん話をしたりして
とても充実した日を過ごす
ことが出来ました。夏休み
が終わるとテストがあるので、
気持ちを切り替えて勉
強に取り組みたいです。

(クラスⅠ)



私たちは夏季休業に友達と小豆
島に行きました。そこで有名な干
潮時にしか現れない天使の道と呼
ばれているエンジェルロードを行つ
きました。とてもきれいで
ました。とても有意義な時間を過ご
すことができました。また、行き
たいです。

(クラスⅡ)



友達と徳島の吉野川へラフティングをしに行きました。
ラフティングとは、ボートに乗つて川下
りをするレジャースポーツです。日本一の激流と
言われる吉野川でのラフティングは最初少し怖
かったのですが、とてもスリルがあり楽しかった
です。自然の素晴らしさと人の優しさを感じた、
いい旅になりました。ぜひまた行きたいです。

(クラスⅡ)



最初は掃除や洗濯、料理などの家事におわれ、また学校では初めての90分授業や実習など、新しい環境に慣れるのがとても大変でした。けれども、時間を上手く使うことによって一人暮らしに慣れていました。不安ばかりな一人暮らしの生活ですが、これからも頑張っていきたいと思ひます。

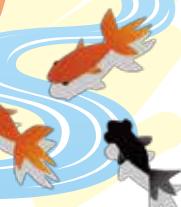
(クラスⅠ)



一人暮らしを始めてよかつたと思
う所は、両親の大切さを気付けたこ
とです。今までしてもらっていた洗
濯、食事、買い物など全て自分でし
なければなりません。親がどれだけ
自分のために動いてくれていたこと
に気付けました。一人暮らしをしな
ければ気付けなかったと思います。
そういうふうなことに気付くこと
ができるいい機会になる一人暮らし
はとてもいい経験になると思います。

(クラスⅠ)

夏休みの 思い出



ボランティア活動

神戸まつり

5月15日に開催された神戸まつり「おまつりパレード」に参加しました。横断幕やプラカード、風船を持ってパレードして赤十字の活動をPRしました。



院内図書班



夏祭り会

小児病棟訪問班
小児病棟と院内保育所で夏祭り会を開催しました。学生手作りのボーリングや金魚釣りで子どもたちと一緒に遊びました。喜ぶ子供たちの様子を見て、学生もうれしく達成感を感じました。



献血班 ひまわりキャンペーン



7月17日にイオンモール姫路リバーシティーでひまわりキャンペーンを行いました。より多くの人に献血を知ってもらい、献血に協力していただくために呼びかけなどのPRを行いました。

講師紹介

ノートルダム清心女子大学 名誉教授

中永 征太郎



「公衆衛生学」を生活の中に位置づけ、身近な親しみやすい学問として、「健康保持増進と予防医学」・「生活を科学とする視点」から講義をすすめております。学生の皆さんの今後の成果とご活躍を大いに期待しています。私事、60の手習いとして、コトバのスケッチ(俳句)を始めました。秋の風情をスケッチしてみました。

夕釣山	澄名月	も案お	雲ゆ名	す見沈
日瓶里	み残あ	ど山疲	流く月	す送む
映落に	わりか	り子れ	れがの	きる陽
えし	たのり	けもさ	ご	搖よを
の	り虫	り家ま	とく	うに
	の	に		

姫路赤十字病院 GCU病棟 看護係長

家村 香織



「セルフマネジメント」を担当しています。セルフマネジメント理論から実際の看護方法について学習します。また疾患に関しては糖尿病を主に学習していきます。私自身、ある医師に「糖尿病は看護師でも治せる唯一の疾患です」といわれたことがとても印象に残っています。糖尿病のように、慢性疾患の患者さんが知識・技術をもち、生活と折り合いを付けながら病気と向き合えるよう支援できる看護と一緒に学べたらいいなと思います。



クラスI 赤十字救急法

赤十字救急法を受講して一次救命処置や包帯法について学びました。一次救命処置では迅速かつ効率的に処置を行うことができる方法や、周りの人に協力を求めることが大切だと学びました。

包帯法では傷病者の立場になって処置をしてもらい、改めて傷病者に対する声かけが重要であると感じました。

今後、人が倒れているところを発見したり災害が発生した際、パニックにならないようにさらに練習を続けていきたいと思いました。そして、適切な方法で傷病者の気持ちに寄り添う救助ができる人になりたいと強く思いました。

(クラスI)



病棟紹介

7階東病棟は内科病棟です。患者さんは、消化器・血液・呼吸器・腎臓原病とさまざまな疾患で入院されており、抗がん剤治療や緩和ケアを受ける方も多くおられます。看護体制は、PNS(パートナーシップ・ナーシングシステム)を導入し、看護師2~3名がパートナーを組んで複数の患者を受け持ち、対等な立場でお互いの特性・能力を活かしながら補完・協力し合い、看護業務を行っています。そして、「患者参画型チーム医療を推進し、安心できる入退院支援」を目指し、入院早期から多職種連携の充実を図っています。内科看護は看護の基本です。看護学生もPNSの一員であることを自覚し、看護師と一緒に患者さんの支援や援助について考えていきましょうね。

(7階東病棟師長:中村 孝子)





平成29年度 入学試験のお知らせ

社会入試

試験日程: 平成28年**11月12日(土)**
願書受付: 平成28年**10月17日(月)～**
平成28年10月31日(月)
消印有効

一般入試

試験日程: 平成29年**1月18日(水)・1月19日(木)**
願書受付: 平成28年**12月12日(月)～平成29年1月8日(日)** 郵送: 消印有効
平成29年**1月10日(火)**持参: 17時まで

詳しくは学校ホームページをご覧ください。 <http://himeji.jrc.or.jp/school/>



カリオン歴史シリーズ

「火鉢、炭入れ」

本校は平成6年まで全寮制であった。昭和43年に新築された寄宿舎は2人部屋であったが、それまでは4人～6人の大部屋であった。座机で学習し、夏は虫よけに蚊帳を吊り、冬の暖房は火鉢であった。夕方に部屋の代表が炭を取りに行き、種火をおこして部屋に持ち帰った。各部屋に火鉢、火箸、炭入れがあった。又、火鉢の炭で豆炭に火をつけて豆炭行火に入れ、寝る時の布団の暖房としていた。学生の皆さんには豆炭をご存知でしょうか?

薬師山から現在の下手野に移転する際に、火鉢も一緒に移転した。学校の中庭に置いて、メダカを飼ったり、睡蓮やコウホネなどの水生植物を植えている。

(副校长:柳めぐみ)



季節の花々

センニンソウ



学校周辺の山際に、雪がつもったように白い花が咲いています。これは、つる性の多年草、センニンソウで、夏の終わりから秋にかけて一斉に花を咲かせます。名前の由来は、果実に生える綿毛を仙人のヒゲに見立てたものです。

編 集 後 記

この夏、ブラジルで開催されたリオデジャネイロオリンピックではたくさんの感動をもらった。特に、チームになることで顕著な力を發揮して、結果を出している日本チームには鳥肌が立った。

私たちがオリンピックで選手の活躍を目にするのは、一瞬である。しかし、見えないところで、人知れず血のにじむような努力をしているであろうことは想像がつく。

個人個人が責任を果たし、チームとして大きな成果を出すことは、看護にもつながっている。頑張れ!! 学生 頑張れ!! 私たち (カリオンチーム)